

事業の基礎情報

実施主体	郡山観光交通株式会社
事業実施地域	郡山市安積町を中心として、郡山市駅前・市役所周辺部を含むエリア
共創の類型	他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ 地域・移住 ・ 観光・まちづくり ・ その他
共創パートナー	株式会社孫の手、株式会社ユニ・トランド、福島大学、安積町商工会、あさかの泌尿器クリニック、山口薬品、スクールIE郡山安積校、わかば幼稚園、アサカワンダーランド、ふじ川食堂
運行形態	①定額タクシー ②一般乗用旅客自動車運送事業を活用した旅行会社方式（会員制定額乗り放題）
運行主体	郡山観光交通株式会社

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

地方における「自家用車」の存在は生活のためには必需品であるため、運転に不安を抱えながらも生活のため運転している。その代替えとして、路線バスも・一般タクシーも・鉄道も一長一短あり、免許返納をして返納前と同じ生活を思い描けないため、免許返納が進まず、結果として高齢者の事故が絶えない。その代替え手段としてタクシーを活用した提案として「定額乗り放題サービス」を数年にわたり模索してきた。サービス内容における満足度は高く、自家用車運転生活に近い生活が実現し、現実免許返納者も生み出せてきた。契約時の説明・利用時の誤解の発生、また契約更新時の運営オペレーションの負担が高く、継続的収益事業への課題として残っている。

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

郡山市総合交通計画マスタープランには本事業の具体的な位置付けはないが、施策2「地域交通の維持・確保と利用者のサービス向上」(108頁)及び：施策9「複数の主体が連携した「共創型交通」の推進」に資する取組である

運輸局・運輸支局への事前相談

有 = 東北運輸局・福島運輸支局

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

有

令和5年度は、共創パートナーとして地域内スーパー・温泉施設と協力して、「楽しみのための外出」を促す取組を実施し成果を上げた。令和6年度はカラオケ・食堂など安積町商工会を通じて共創先を多様化し、更に楽しみのための外出を創出する。また、病院薬局などと連携し利用者の到着情報・出発情報を交通事業者と共有して、業務効率化を図る。送迎サービスをする学習塾とも共創し、対象を子どもにも広げ、施設と送迎連携し、施設・子どもの家族への送迎情報共有する。

事業の全体像・共創の仕組み

<p>共創パートナー①：孫の手</p> <p>会員サポート・家族との連携全般。サービス商品の販売・契約。運行申込受付・発注。お出かけツアー企画・販売・実施。</p>
<p>共創パートナーの負担</p> <p>「定額乗り放題サービスヤマグチ君」会員サポート体制として、1名がコンシェルジュとして定期的に会員を訪問して御用聞きの役割を担う。</p>
<p>共創パートナー②：ユニットランド</p> <p>定額会員クラウドサービス機能拡張・リコメントサービス機能構築・配車サービス連携・移動データ行動データ分析考察</p>
<p>共創パートナーの負担</p> <p>システム担当者2名、クラウドサービス機能構築担当2名、全体総括として1名が担当する</p>

会員家族サポート

システム構築

実施主体

実施主体名：安積町生きがい促進プラットフォーム

郡山市安積町における地域住民の生きがいを促進するための事業を行う

運行主体

運行主体名：郡山観光交通

共創プラットフォーム幹事会社。タクシー車両の運営・管理、定額乗り放題サービス「ヤマグチ君」運行、会員サービス構築サポート・運用

幹事事業主体

運行

地域事業者調整

お出かけツアー連携
会員情報共有連携
子ども送迎連携

アドバイス

共創パートナー③：安積町商工会
安積町の企業や施設へのプラットフォームの情報発信や共有し、病院・薬局・食堂・カラオケなどの商工会内事業所との窓口として調整

共創パートナーの負担

担当スタッフ1名の人件費。商工会会員への会報発送時におけるチラシ同封経費。病院・薬局・食堂・カラオケほかとの窓口として連携。

共創P⑤⑥⑦⑧⑨⑩：あさかの泌尿器クリニック・山口薬品・スクールIE郡山安積校・わかば幼稚園・アサカワンダーランド・ふじ川食堂

お出かけツアー連携・会員送迎情報共有連携・子ども送迎以外連携

共創パートナーの負担

各社担当スタッフ1名の人件費程度

共創パートナー④：福島大学

様々な地方の取組みに関わっている知見を活かして、共創プロジェクト全体におけるアドバイス等

共創パートナーの負担

担当者の定例会への参加・アドバイス。利用者満足度調査委における人員サポート。

取組の概要

(事業の概要)

令和5年度のスーパー・温泉施設を共創先としたが、令和6年度は安積町商工会を通じて共創先を多様化させ、お出かけツアーを通じて外出意欲を創出し、利用者の到着情報・出発情報を施設と交通事業者で共有する。また、対象を子どもにも広げる実証として、送迎サービスをする学習塾と共創連携し、施設及び子どもの家族への送迎情報の共有する。①契約申込のネット対応システム構築運用実証 ②外出予定データの作成・遠隔からの入力・修正変更可能なシステムの構築運用実証 ③外出予定の利用者本人・家族と施設へのリコメンド機能システムの構築・運用実証 ④地域内のツアー企画提案・実施

(地域の関係者との連携・協働)

令和6年度は、カラオケ・飲食業とも連携し、施設の空いている時間帯を活用して、お出かけツアー企画で外出機会を増やし相乗り率向上を図り、施設側にとっても施設稼働率アップを見込む。病院・薬局との連携では、利用者の到着情報・出発情報を施設と交通事業者で共有して、互いの業務受け入れ態勢の効率化を見込む。また、令和5年度に子ども送迎依頼があったことから、送迎サービスをする学習塾とも共創して、対象を子どもにも広げ連携実証を行う。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

地域内には路線バス・JR駅・郡山市デマンド交通が運行している。また、自社運行の一般タクシーも含めてそれぞれの役割を活かし、手の届かないところを本サービスにてカバーする。そのうえで、将来的に各交通機関のバランスをとり、主には自家用車から各地域公共交通機関への転換を図る一助とする。

事業実施手順・スケジュール

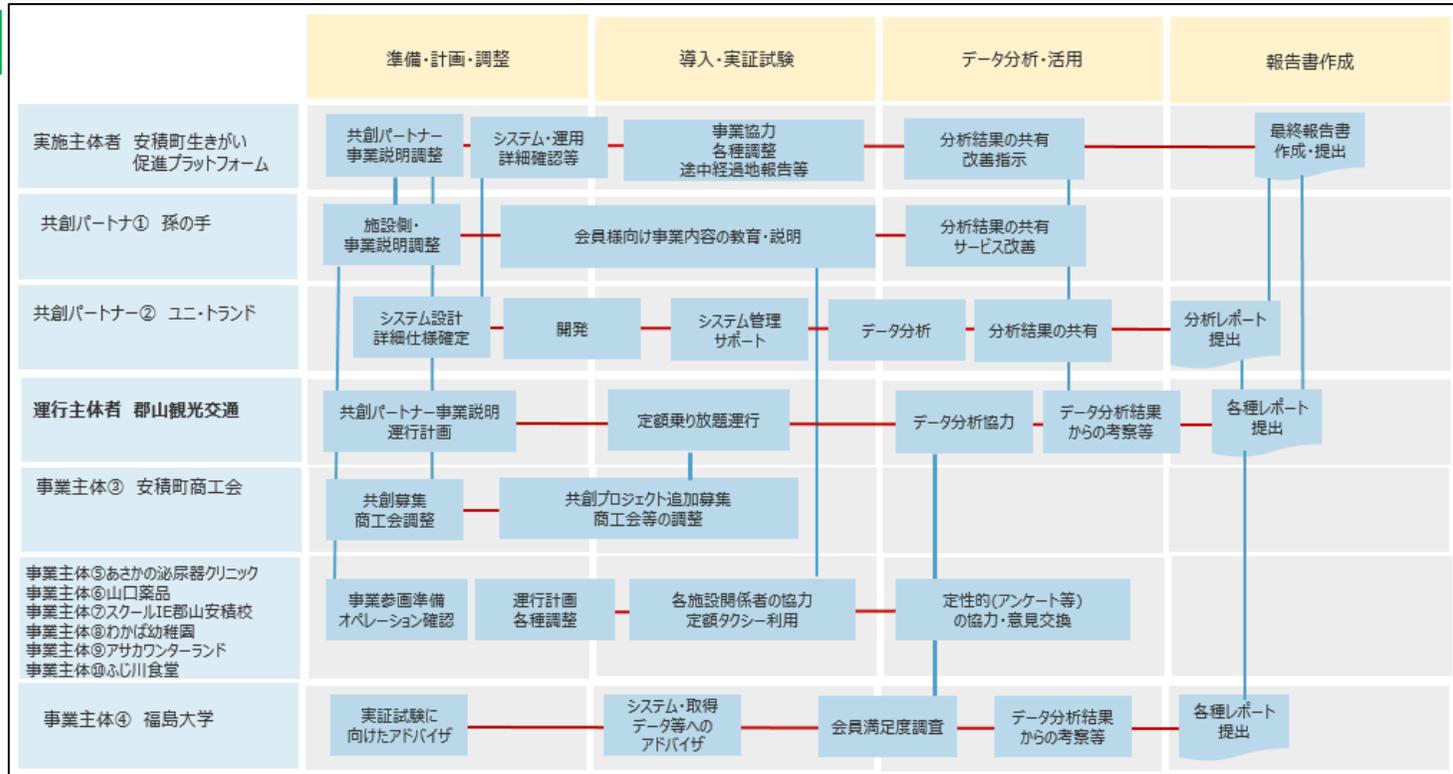
実証試験において移動の中心である定額乗り放題を事業主体である、郡山観光交通社が運行を実施。

孫の手社は会員様と会員のご家族様とのサービスの説明と配車のスケジュール調整や安積町商工会と情報交換し、共創連携企業増加への取組を実施。

ユニ・トランドは会員システムの構築や配車サービスとの連携・データ取得、リコメンド機能構築等、ICT部分を担当。

以前から「定額乗り放題サービス」をサポートし、過去の調査も担当し会員について理解している、福島大学にアドバイザーや満足度調査等に参画いただきます。

安積町商工会は「外出の機会創出」「お出かけツアー」実施に向けて病院・薬局・カラオケ・飲食業者の紹介と窓口を担当。また地域内会員企業様への取り組みの周知と共創連携先拡大に協力していただくスクールIE郡山安積校・わかば幼稚園とは、サービス対象を子どもに広げるために実証を行う。また自社送迎の業務委託における効果の検討を行う。



事業主体	内容	2024		2025	
		6月～9月	10月～12月	1月～3月	4月以降
① 郡山観光交通	会員制定額乗り放題 運行・販促	■	■		
	会員サービス構築サポート・運用	■	■		
	事業報告書提出				■
	タクシー事業者への情報発信販促			★	
② 孫の手	会員制定額乗り放題 運行・販促	■	■		
	コンシェルジュサポート・会員向け周知		■	■	
	会員家族様との情報共有・説明		■	■	
③ ユニ・トランド	定額会員クラウドサービスの機能拡張	■	■		
	リコメンドサービス構築・配車サービス連携	■	■		
	移動データ・行動データ分析・考察	■	■		
	全国各自治体への情報発信・販促				■
④ 福島大学	事業全体のアドバイス	■	■		
	利用満足度調査の実施・レポート提出			■	■
⑤ 安積町商工会	商工会会員向けの共創プロジェクト周知・調整	■	■		

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

本事業の最大の目的は「自家用車から地域交通への転換」である。自家用車がなくとも地域内で不便なく生活出来ることを理解してもらえる。結果として、免許返納者及び自家用車売却者数が増える。→目標期間内10名の免許返納者又は自家用車売却者数を指す。

また、お出かけツアーや施設からの帰り情報の共有により配車効率が良くなる効果がある→相乗り率20%を目指す(現状昨年実績12%)

(地域全体に及ぶと想定される効果)

生活必要外出(銀行・病院・食糧買物)以外の楽しみのための外出が増える効果があり、地域内の多様な事業所への誘客効果が図れる。

比率：生活必要外出50%：楽しみのための外出50%→40%：60%を目標に

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ(複数選択可)、当該内容について上記に具体的に記載してください。

<input checked="" type="radio"/>	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	<input type="radio"/>	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
<input type="radio"/>	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	<input type="radio"/>	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

令和5年度事業終了後についても、他の交通事業者や地方自治体等に定額会員制相乗りサービスについての情報共有を進めており、地方公共団体を中心として、多くの問い合わせが来ている状況です。

令和6年度の事業にて、前年度に残った課題を解決し、さらに会員サービスの質を高めることにより、地域においてコミュニティバスやデマンド交通の取組みが機能していないところへの解決策に繋がる可能性も高いので、引き続き情報提供と販促活動を続けていく。

安積町内の会員数を、本年度末100名・次年度末200名・R8年度末350名を目指す。また、来年度郡山市内全域での地域内他タクシー会社との共創における拡大、および白河地区・三春地区での自社運行、その後他地域での事業支援を計画する。

資金面	本実証事業における資金調達に関しては、自己資金を原則とする。自己負担分の約40%をサービス利用料で賄い、残りを事業者・共創パートナーより自己資金を資金拠出。自治体には制度周知での支援をいただく。
人材面(運転手の確保)	交通事業者である郡山観光交通において「定額乗り放題サービス」を活用。タクシー事業とは違う働き方を前面に出して新規採用も取り組む。